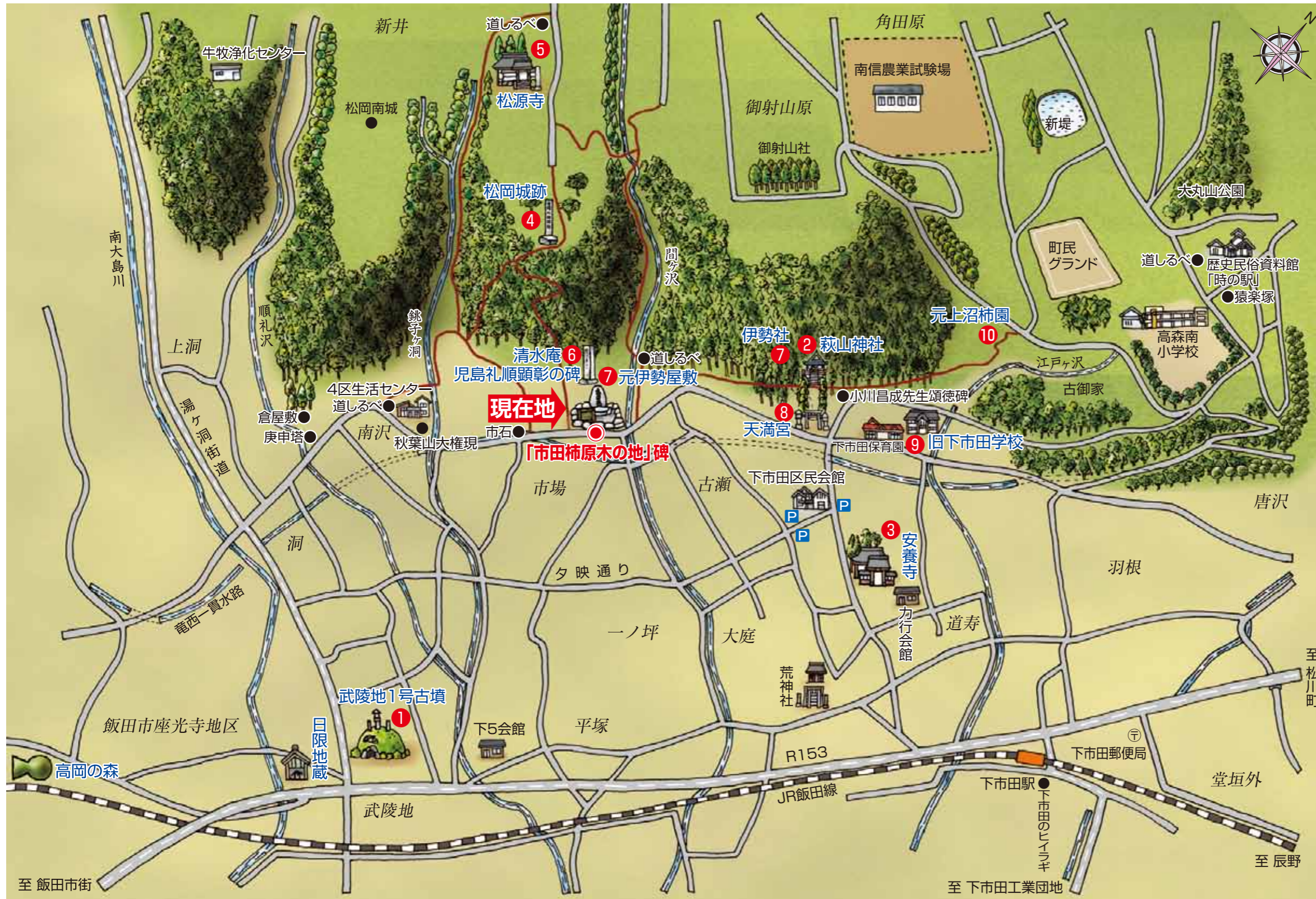


# 市田柿に関する歴史的なことがらと原木の地 周辺案内図

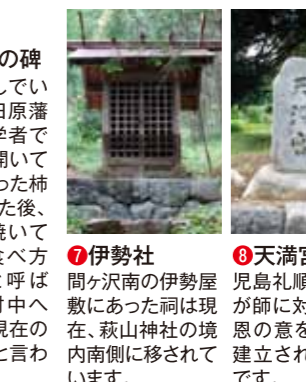


⑥	⑤	④	③	②	①
江戸時代中期 一六七五年頃	室町時代 一五二三年	南北朝時代 一三三八年	平安時代 一一八三年	奈良時代 八世紀末	時期
延宝三年頃	永正十年	延元三年	寿永三年	西暦	和暦
間ヶ沢観音堂(清水庵)この頃開かれる	松岡右衛門大夫貞正(牛牧寺)に松源寺を創建する	この頃、松岡城を築城する	松岡氏九代伊予守貞景、安養寺を創建する	松岡氏四代帯刀、萩山神社を創建する	武陵地(号古墳)に富本銭が副葬される

⑩	⑨	⑧	⑦
大正時代 一九二二年	明治時代 一九〇七年	明治時代 一八八八年	江言時代後期 八〇四〜八七
大正十年	明治四十年頃	明治十一年	文化年間 天保〜弘化年間
下市田村社(年)ころ柿を「市田柿」と改称をし市場に出荷	上沼正雄(寺)山を開墾し柿苗、百本植える	下市田学校を再建する	間ヶ沢に伊勢社を祀る、後に伊勢屋敷と呼ばれる

時代	西暦
原始	300
古墳	400
飛鳥	588
奈良	710
平安	794
鎌倉	1192
南北朝	1333
室町	1338
戦国	1392
江戸	1467
安土桃山	1573
近世	1603
明治	1700
大正	1868
昭和	1912
平成	1926
現代	1945
	1989
	2000

## ●「市田柿原木の地」碑



① 武陵地1号古墳 高森町史跡  
直径19m、高さ4mの円墳で、長さ8.6mの横穴式石室を備え、七世紀前半の古墳と推定される。墳丘上に秋葉大権現の石碑が祀られている。武器、馬具等と一緒に富本銭が発掘された。

② 萩山神社 高森町有形文化財  
平安時代の末、寿永2年、松岡城主4代松岡帯刀が諏訪明神を勧請して創建した。主祭神建御名方命を奉る本殿、八幡社、須斐鳴命を奉る荒神社の三殿がある。七年に一度、寅申年に御柱祭が行われる。

③ 安養寺 臨済宗 本尊：阿彌陀如来  
延元3年、松岡城主第9代松岡貞景が禅道場として開善寺の古鏡明千禪師を開山に迎え創建した。貞景の子、貞政が亡父の三十三回忌法要に奉納した五部大経二百巻のうち梵網経が今に伝わる。

④ 松岡城跡 高森町史跡  
松岡氏の初祖、仙千代は松岡貞則を名乗り市田郷地頭に任じられ館を古城の地に構えた。南北朝時代に入り現在の松岡城の築城が始められた。段丘先端部を利用し、五つの曲輪を備えた壮大な城跡。

⑤ 松源寺 臨済宗 本尊：釈迦牟尼仏  
永正十年、松岡城主第12代松岡貞正が創建。開山は真正の実弟、文叔瑞都禪師である。文叔は京都妙心寺の二十四世住持となり、遠州井伊谷龍潭寺の拜請開山、松尾龍門寺の開山など務めた名僧。

⑥ 清水庵境内 児島礼順頭彰の碑  
伊勢屋敷に住んでいた礼順は三州田原藩の元藩士で漢学者でした。寺子屋を開いていた礼順は、実った柿を伊勢社に供えた後、寺子と一緒に焼いて食べた。その食べ方から「焼柿」と呼ばれ、接ぎ木で村中へ広がり、これが現在の「市田柿」の元とされています。

⑦ 伊勢社  
間ヶ沢南の伊勢屋敷にあった祠は現在、萩山神社の境内南側に移されています。

⑧ 天満宮の碑  
児島礼順の門弟が師に対する謝恩の意を表して建立されたものです。

⑨ 旧下市田学校 高森町有形文化財  
明治21年に完成した擬洋風建築の小学校校舎。寄棟造り2階建ての正面に唐破風屋根の玄関が付く。この玄関は宮大工として名声の高い坂田亀吉(通称:木曾亀)の作で、下市田の村自慢であった。